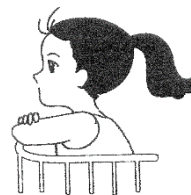


第23回全国のつどいin大阪 実行委員会ニュース

NO.3



第23回全国のつどい実行委員会事務局発行 2018. 4. 17

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 7-11 大阪府教育会館 403 号

大阪教育文化センター 気付、tel.090-2064-4622 携帯 fax.06-6768-2527

満開の桜にそれぞれの思い

第23回全国のつどい第3回実行委員会



急にあったかくなった4月1日、埼玉、東京、千葉、滋賀、京都、奈良、和歌山、兵庫、大阪から56人のご参加を得て第3回実行委員会が開かれました。

大川だけでなく、各地で桜が満開となり、自己紹介の中でも、桜の話題がたくさん出ました。今回は記念講演と基礎講座・特別講座について、話し合いました。

実行委員長あいさつ（福田敦志さん）

最近の大きな話題の一つだが、この国の大人たちは、うそをついてもいい、具合が悪くなったら書き換えてもいい、都合の悪いことは、下が勝手にやっただと言ってもいい、みたいなことを大っぴらにやってくれている。そんな中で、4月から道徳が教科化、成績の対象になるという。大人はうそをついていいのか、テレビを見せて道徳の授業でやったらいいのでは、どこかの省庁から問い合わせがありそうだが。

この問題を教育に携わるものとして。どう捉えたらいいか、考えている。

今の学校、社会は正直者がバカを見て、繊細な人が傷つく世界になりかねない。がんばって戻れ戻れと言って、戻した先の学校でもっと傷つくのではと懸念される。

だからと言って学校や社会はどうでもいいとは言えない。知らんぷりはできない。正直者がバカをみない、おもしろいやつちやなあとお互い認め合い、そこは違おうと批判しあい、そして認め合うような、一緒にもうちょっと先へ進むような社会や学校になればいいと思う。子どもや親にもっと変われと騒ぐのではなく、世の中がもっといい方向に変わっていかうや、という智恵や力が、ここ、実行委員会や、つどい当日の議論のつまかさねのなかで出来ていくように、正直者がバカを見ない社会を作る手がかりを、皆さんと一緒にしっかり議論してみつけて行きたい。

参加者の自己紹介から

☆家を早く出て、大川の桜を見てきた。子どもが登校拒否をした当時は桜をきれいだとかほっこりすると感じなかった。今日は心ゆっくり見学できて、この実行委員会に参加。
☆子ども二人が家にいる。はじめは自分のことを責めたりしたが、いろんな人の話を聞いたり、自分の話をしたりで、元気になってきた。子どもとへその緒がつながったまま生きていたようだけれど、今やっと切れたなと思う。子どもたちが自分で自分の未来を切り開いていけるように、子どもたちが手伝ってと言ったときに、私がくたくたではいけないなど日々元気に過ごしている。

☆子どもが不登校になったとき、市の相談機関にかかっていたが、親の会が分からず、2年たって、親の会を知った。そういう問題につきあたってしまうと、個人もそうだけれど、家庭が孤立してしまう。親の会に出会って、気持ちがホッとした。ここにはわかってくれる人がいる。子どもの進学が決まり、新しいことが始まろうとしているが、期待1割、不安9割。落ち着かない日々だけれど、親が心を落ち着かせていかないといけないと思う。

☆昨日まで教師をしていた。私が担当していた子が不登校で本人とは全く会えていないがお母さんにつながっている。お母さんも元登校拒否、お母さんが「自分が変わらな」と学校へ通うことになり、どんどん吸収。そんなお母さんを見て、子どもも「俺定時制行くわ」と言っている。子どもの進学について焦る必要ないと話している。大阪市では主務教員という制度ができ、それにならないと38歳から昇給なし。先生も大変な状況。

☆相談員をしている。子どもは親に認めてもらいたい、受け止めてもらいたい気持ちがある。親のきもちをゆったり支えているのは親の会、それが全国からあつまるのが、つどい。ぜひ、全国から参加してほしい。

第2回実行委員会で決まったこと

全体会の記念講演は高垣忠一郎さん（心理臨床家）に決まりました。

話し合われたこと



1、記念講演について

<事務局からの提案>

前回実行委員会以後、推薦の連絡はなかった。実行委員会で名前の上がった二人について、出された資料などを基にして事務局で話し合いを重ねた。

事務局としては次のような理由で高垣忠一郎さんをお願いしたい。

全国連絡会設立当初から親や教師、相談員と共に歩んで来た方である。

学校が大変競争的になり、非正規雇用が増えるなど教師も悩んでいる現在、親にも教師にも、初めての参加者にも、学校の現状、その中での子どものしんどさなど分かりやすく話してもらえる。学校へ行けなくなった子どもたちが、一時学校から撤退して、自

分の進む道を考え、悩み、エネルギーを蓄え、動き出していくその力は、子ども自身の中で育っている、自己回復力を重くみている。

暴言や暴力で自分を表現する子も、ゲームばかりに熱中している子も、親の意に沿ってない子どもを丸ごと受けとめて、内に秘めた心を見ていくこと。スピード感が評価される現代、学校も社会もそれに翻弄されている感がある。そんな時代だからこそ、必要な時間をかけて人は自分を形成していくという、人の育ちを大きくとらえたお話を聞ける。それは「全国連申し合わせ」の「目的」にかかげる、「この会はずべての子どもたちが生き生きと自立へ向かって成長できることを願って」、の願いに沿うものであると思う。

<参加者からの意見>

☆今こそ「自己肯定感」をじっくり聞きたい。

☆わが子が登校拒否したとき、相談に行き詰らされた。この会に来て講演を聞く人が泣き出すのを見て、ここでは泣いていいんだとほっとした。おちついて、子どもが何がしんどかったのか、子どもを見ようと思った。いいところをほめる、ではなくて、こんなおろおろしている私でもいい、子どもに対してもそう思えたらいい、そんな話が聞きたい。

☆私はあなたのことをわかってあげてるよ、と解釈を言う母をやっていたときは、まだ自分を責めている子どもがいた。丸ごと受け止めて、信じて待つという自分の腹がすわったら子どもが動いていくようになった。今の自分でいいと納得したときに動き出す。

☆子どもに寄り添う、とは、親自身の価値観も見直すこと。そのための話が聞きたい。

☆今現場では若い教師が増えて、早く学校に復帰させるよう電話や訪問するよう管理され、それが評価につながる。教師にも何が大事かを聞いてほしい。

☆少しでも困っている親の救いになるようにと森田さんを紹介させてもらったが、記念講演でとは思ってなかった。私も記念講演では高垣さんの話が聞きたい。



2、基礎講座・特別講座・分科会について

<事務局から基礎講座・特別講座について提案>

基礎講座については、「家庭で」「学校で」として2日目に実施したい。「学校で」の中で、前回ご意見をいただいた学校の現状や制度についても含めてできたらと検討している。

特別講座については、発達障害についての講座をもってはどうかと検討中。悩んでいる親・教師が多く、交流や学びが深められるようにしたい。

<基礎講座・特別講座について出た意見>

☆基礎講座、特別講座の持ち方について、よくわからない。どなたかを招いてなのか、勉強会的なものなのか。

☆課題は学校の先生の働き方。本当にゆったりした心で子どもと向き合うことができない。子どもの心の傷付き、そういうことを学校の先生に聞いてもらえる機会がない。学校の先生にも自助グループが必要では。そういう基礎講座に。

☆特別講座、そこに人をとられる。分科会や基礎講座の中に十分くみ取っていただける内容では。別建てで必要かどうか。基礎講座だけでいいのでは。
☆特別講座に発達障害の講座があると思う。昨年の東京、田中哲さんの講座はよかった。大阪の交流会でもよく感じる。分科会でなく特別講座で基礎から学ぶことが大切では。

<事務局補足発言>

今後の実行委員会で、分科会や基礎講座の内容について議論していく。内容は分科会等の世話人で話し合いながら決める。講座はこれまで、専門家を講師に迎えて、分科会と違い、まとまった話をしてもらってきた。基礎講座等の講師については、実行委員会で決定。

基礎講座・特別講座については、次回実行委員会で引き続き検討します。分科会については、今回は議論できませんでしたので、次回以降に議論する予定です。

感想から

- ★「つどい」は全国から参加するので、高垣さんのお話をきいていない方はたくさんいるはず。親も教師も学ぶ場、つながる場と考えます。不登校は治すものではない、治るものではないと思います。娘が言っていました「お母さん、自分は一生このこと(=不登校になった自分、なぜなったか)とつきあっていかなくちやいけないんだ」。それは、学校に行っている一時期のことではなく、一生のこと、今の社会に生きづらさを感じながら生きていくということ、と思います。そういう意味で高垣さんの講演に期待します。(埼玉・父母)
- ★講演についての論議を深める中で、つどいの意味について改めて考えることができ、よかったと思います。()
- ★みなさんの自己紹介を聞きながら、いろんな思いが寄りそって、すてきなつどいになればいいなあと思いました。(大阪・父母)
- ★初めて参加しました。大変な思いでつどいを作り上げていくのだなと感じました。次回も参加できればと思います。(奈良・父母)
- ★自己紹介も意見交換も濃厚な4時間でした。皆さんの人生の経験談、色んなお話、あっという間に5時。私自身、子の不登校前、不登校、現在と、紀元前から紀元後の年表が書ける(作れる)と思うほど、人生が激変したような。つどいとの出会いも含めて、私は私でどう生きようか。また、来ます。()

～．

つどいちゃんストラップ、ほか物品販売のお知らせ。

大阪のおみやげや実用品、おやつなど、つどいの資金作りを兼ねて、事務局から販売します。ご協力よろしくお願ひします。

つどいのホームページができました♪

URL <http://zenkokuren.jp/tsudoi/> 全国連ホームページの
トップページ 「大阪のホームページはこちら」から入れます。



<連載第2回>

分科会のふりかえり

<分科会について、事務局よりお願い>

過去世話人などで関わってこられたみなさん、分科会で語られてきたこと、大事にしてきたこと、心掛けたり気を配ったことなどを書いてお寄せ下さいますようお願いいたします。

第3分科会 高校生

どの分科会も同じだと思いますが、第3分科会でも、自己紹介を大切に、交流してきました。一人一人が話しやすくなるように、まず最初に、その地域の親の方に自己紹介をしていただくようお願いしています。お話の中から、その地域ならではの高校（学校）の状況などが語られます。「留年を選ぶ?」「新しい進路を探す?」「何もせずにゆっくりと休む?」等々。それぞれの参加者が語り合い、聞きながら、今の状態をどう考えて行けば良いのか、子どもにとって何が一番大切なのか、など、必死で感じとろうとされます。

「話すことで心が開放され、聞くことで一人ぼっちでないと思える」、これからもそんな分科会になることを願っています。(大阪 A・K)

☆ちょっとひといき 大阪のいいところ案内

エルおおさか近くの観光名所♪ 今回は中之島です♪



大阪市中央公会堂（エルおおさかから徒歩15分くらい）

大正7年に建てられた赤レンガの建物。ネオ・ルネッサンス建築の傑作にあげられ、中之島のシンボルとして親しまれています。

地下1階の展示室は、誰でも自由に見学できます。

大阪府立中之島図書館（中央公会堂と大阪市役所の間にあります）

明治37年に完成した石貼り建築。ローマパテオンにならった緑色のドームや入口にそびえる列柱が印象的な重要文化財。

中之島公園のバラ園（エルおおさかから徒歩10分くらい）

公園の中央に東西約500m、面積約13000㎡にわたって、約310品種、およそ3700株のバラがあり、見ごろは5月中旬～6月下旬と10月下旬～11月中旬です。

第5回実行委員会あたりが見ごろかもしれません

♪

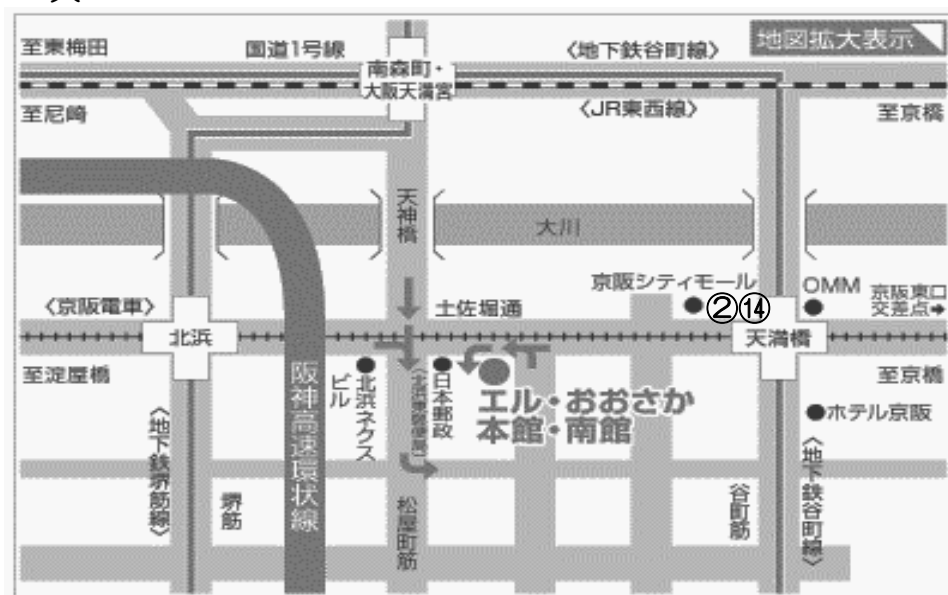


第23回全国のつどい in 大阪 第4回実行委員会のご案内

下記のとおり第4回実行委員会を開催します。
みなさまのご参加をお待ちしております。

記

日時 5月6日(日) 13:00～17:00
場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター)606号室
内容 基礎講座・特別講座・分科会、要項などについて
天



天満橋駅②番(⑭番)出口を出て右へ

●京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅より西 300m ●京阪・地下鉄堺筋線「北浜」駅より東 500m ★車の方は、阪神高速東大阪線、法円坂出口を左折して直進、京阪東口交差点を左折して西へ信号5つ目 ★新幹線でお越しの方はその乗車券でもう一駅、JR 大阪駅下車、地下鉄谷町線東梅田駅へ移動、二駅目が「天満橋」駅になります。

今後の日程

つどいのプレ集会：7月8日(日) 実行委員長福田敦志さんの講演を行います。

場所：エルおおさか709 受付9時30分～、講演10時～

実行委員会	日にち	時間	場所
第4回	5月6日(日)	午後1時～5時	エルおおさか 606
第6回	7月8日(日)	午後1時～5時	エルおおさか 709
第7回	8月5日(日)	午後1時～5時	大阪府教育会館 コスモス (たかつガーデン)